

●技術情報

Q&A

[6] 作物別施用法（工芸作物他）

Q 6-9-4 イ草に対する石灰窒素の使い方について聞かせて下さい。

A6-9-4 イ草は11月下旬～12月中旬厳寒期に植え付けられ、5月中ごろより急激に分けつし、6～7月にかけて収穫します。

イ草は、窒素施用量が50kg/10aを越える多肥作物のひとつであり、追肥は生育の盛んになる5月以降に数回行われ、追肥回数および1回当たりの施用量がともに大きく、多大の労力を要します。

基肥の石灰窒素は、30kg/10aを植え付け7日くらい前に施用すれば、生育障害もなく肥効は持続します。

また、有機物の分解をうながす効果も、イ草の生育・収量によい結果をもたらします。